

図書館の職員さんに聞いてみよう！
本のはなし

話題の
新刊本！



（一般書）
綱を引く
著者：堂場 瞬一
出版：実業之日本社

東京・蒲田商店街の綱引きチーム「プルスターズ」。全国大会で優勝の実績をもつが、高齢化、長引く不況の影響などでチームは休眠状態に。最年長のキャプテン真島は、留学生ケリーとの新たな出会いで、再び、日本を奪還できるでしょうか。（中央図書館所蔵）



（児童書）
かえる場所
作：千広兄弟
出版：中央公論新社

いまSNS総フォロワー数14万人超えの、新進気鋭の絵本作家の待望デビュー作品。「わたしが、まもってあげる」、少女が森で見つけた一つの卵。だけど、危険な道中を越えてたどりついた家で、家族の温もりにも包まれた瞬間に、少女は気づきます。大切な人に伝えたい、少女の成長の物語です。（中央図書館所蔵）

図書館からの
まめ知識

Vol.133
こどもの読書週間 2025
〔4月23日～5月12日まで〕
今年の標語「あいことばは ヒ・ラ・ケ・ホ・ン！」
子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に始まりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間でしたが、2000年より、現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。幼少の時から書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってとても大切な事です。
ぜひこの日を機会に、本の魅力や楽しさ、ワクワク感を伝えるきっかけにしてください。

図書館からのお知らせは P23

春季全国火災予防運動に伴う防火パレードを行いました

3月2日、宇陀市消防団による火災予防防火パレードを行いました。

3月1日から7日の間、全国一斉に春の火災予防運動が行われ、全国統一防火標語『守りたい 未来があるから 火の用心』のもと、市内各地で消防車による火災予防の啓発活動が行われました。

市役所で出発式を行った後、各管轄地域を車両で巡回し、市民に火災予防を呼びかけました。

春は火災が発生しやすい季節です。火を取り扱う際には、十分注意しましょう。



市役所に現場実習生徒を受け入れ

2月17日～21日

現場実習生徒が、企業や自治体などで実務を体験する制度で、今回は二階堂養護学校 高等部2年生の田頭 孝太朗さんが市役所の介護福祉課や生涯学習課、秘書広報情報課などで5日間実習されました。

この実習では、①現場における作業実習の経験を通して生徒の適性を知る。②卒業後の進路への生徒の自覚を高める。ことを目的として行われました。

5日間の実習を終えた田頭さんに、インタビューを行いました。

Q: 現場実習で宇陀市役所を選んだ理由は？
A: 自分の住んでいる大事な場所だから

Q: 広報誌で伝えたいことは？
A: 誰も嫌なことがない、(宇陀市を) 平和な場所にしたい
今回の経験が今後の進路を考える参考になればと思います。



▲撮影する田頭さん



◀田頭さんが撮影した写真

チェーンソー整備・選木・間伐講習会

2月15日

宇陀林業振興協議会および宇陀市森林組合の主催によるチェーンソー整備・選木・間伐講習会が、宇陀市森林組合を会場として開催され、約50人の方が参加されました。午前中は「目立て」とよばれる刃のメンテナンス方法を中心としたチェーンソー整備の講習がありました。

午後からは、榛原檜牧地内山林にて、選木・伐倒を中心とした間伐講習会があり、3チームに分かれて選木、間伐の重要性和選木基準を学び、後半では森林組合のコラボによる木の伐倒のデモンストレーションもおこなわれ、上手く木を倒した時に拍手喝さい、講習会がおおいに盛り上がりました。



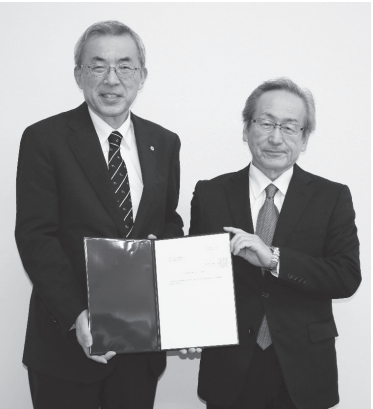
大宇陀地域を花いっぱい「花いっぱい運動」

2月18日

今年も大宇陀青少年健全育成協議会が中心となって「花いっぱい運動」を行いました。

花植え作業は、プランターにジュリアンを3苗ずつ植え、大宇陀地域の5つの施設、①宇陀高等学校（大宇陀学舎）②大宇陀中学校③大宇陀小学校④大宇陀こども園⑤大宇陀ラガールに20個（プランター）ずつ配りました。

この運動を通して家庭・学校・地域が連携し、未来を担う子どもたちの健全育成に寄与できたらと考えます。



▲審査会の伊藤会長（右）

◀作業に参加した大宇陀青少年健全育成協議会のメンバーと大宇陀中学校の有志の生徒



第2次宇陀市総合計画後期基本計画の策定に向けて

2月19日

宇陀市総合計画審議会が開催され、市長から審議会の伊藤会長（奈良県立大学 名誉教授）に対し、「第2次宇陀市総合計画後期基本計画の策定」について諮問が行われました。

今回の審議会では、後期基本計画策定にあたっての考え方、市民ニーズ等の把握、策定スケジュール等について議論が行われました。

市長は、計画の策定にあたり、市民の意見やニーズを反映させることの重要性を強調し、審議会メンバーに協力をお願いしました。また、伊藤会長は、地域の特性を活かした持続可能な発展を目指し、審議会としても力を合わせて取り組んでいくことを表明しました。

今後、審議会では計画の具体化に向けた議論を重ね、宇陀市の将来に向けた有益な計画を策定していく予定です。